

# サイアムセメント(SCCn)

タイ含むアセアン市場でのセメント建設資材への堅調な需要を見据え、港湾運送の合弁会社設立に期待。

タイ | セメント・骨材 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SCC:TB | REUTERS SCC.BK

- 2018/12期4Q(10-12月)は、売上高は前年同期比3.4%増の1,172.23億THB、純利益が同16.7%減の104.68億THBだったが、調整後の純利益では同1.5%増の118.78億THBと実質上は増収増益。
- 化学品事業が減益となった一方で、需要に支えられたセメント建設資材事業とマージンが改善したパッケージング事業は増益だった。
- 4/5にシンガポール港湾運営大手PSAインターナショナルと港湾運送の合弁会社の設立を発表。セメント建設資材の需要が伸びるアセアン市場を跨ぐ物流サービスが業績に寄与することを期待できる。

## What is the news ?

2018/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比3.4%増の1,172.23億THB、EBITDAが同24.5%減の200.81億THB。純利益は同16.7%減の104.68億THBとなったが、一時的な事象を除いた調整後の純利益は同1.5%増の118.78億THBだった。セメント建設資材事業および化学品事業の増収が売上増に寄与した。利益面では化学品事業が減益要因となったが、季節要因による関連会社からの受取配当金が利益貢献した。

事業セグメント別の概況は以下の通り。セメント建設資材事業は、売上高が前年同期比5.4%増の457.28億THB、セグメント利益が同49.2%増の15.58億THBだった。灰色セメントに関して、外国向けクリンカー輸出数量伸びと国内向け政府投資関連の伸びが目立った。化学品事業は、売上高が同4.0%増の539.05億THB、セグメント利益が同42.6%減の54.15億THBだった。製品価格上昇と販売数量増により増収となったが、年末に向けての需要減を懸念した相場変動の増大により価格差マージン縮小と在庫ロスが発生し、在庫調整を行ったことにより減益となった。パッケージング事業は、売上高が同0.7%減の212.83億THB、セグメント利益が同22.8%増の14.92億THBとなった。販売数量の減少により減収となったが、マージンの改善とコスト低減効果で、EBITDAマージンが前年同期の14%から17%に改善したことが増益に寄与した。

## How do we view this ?

2019/12通期会社計画では、ベトナムのロンソン・ペトロケミカルズ開発を含む設備投資に600億THBを支出し、20年以上勤務者に対する退職手当を400日分とするタイの新労働法による一時的な支出が20億THB発生することが利益面で響く懸念はあるが、セメント建設資材事業における灰色セメントと建設資材への需要はタイを含むアセアンで堅調な伸び(タイは3-4%増)を想定している。4/5にシンガポールの港湾運営大手PSAインターナショナルと港湾運送の合弁会社設立を発表したが、これにより、セメント建設資材の需要が伸びるアセアン市場で港湾運送や輸出入の物流サービスを提供でき、業績拡大への寄与を期待できよう。

## 業績推移

※参考レート 1THB=3.51円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	423,442	450,921	478,437	469,714	484,233
当期利益(百万THB)	56,084	55,041	44,748	46,465	49,455
EPS(THB)	46.74	45.87	37.29	38.40	40.74
PER(倍)	9.84	10.03	12.34	11.98	11.29
BPS(THB)	200.02	217.58	230.91	258.16	280.57
PBR(倍)	2.30	2.11	1.99	1.78	1.64
配当(THB)	16.00	19.00	19.00	17.91	18.42
配当利回り(%)	3.48	4.13	4.13	3.89	4.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

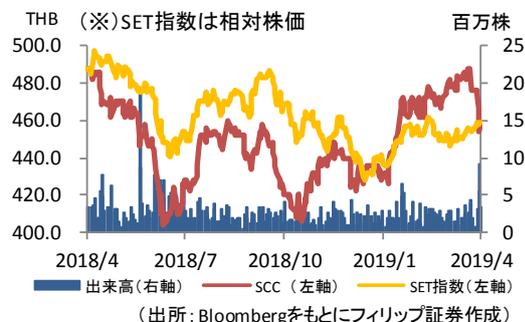
配当予想(THB) **17.91** (予想はBloomberg)  
 終値(THB) **460.00** 2019/4/18

## 会社概要

1913年にタイのインフラストラクチャープロジェクトに不可欠な材料であるセメントを生産することを目的に、第6代国王のラーマ6世が設立。ASEANを代表するコングロマリットで、現在はセメント建設資材事業、化学品事業、パッケージング事業の3つを中核事業とする。セメント建設資材事業は、SCG Cement-Building Materials Company Limitedが展開。セメントおよびその他建築資材の製造・流通を行うほか、デジタル技術を活用した生産性の向上にも取り組んでいる。化学品事業は、SCG Chemicals Company Limitedが担っている。モノマーなど上流部門から、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニール、ポリスチレンおよびMMAなど下流部門に至るまでの幅広い石油化学製品を製造する。パッケージング事業は、SCG Packaging Public Company Limitedを通じて展開。紙、板紙、パッケージング・パルプの製造・販売を行っている。

## 企業データ (2019/4/19)

ベータ値	0.89
時価総額(百万THB)	554,400
企業価値=EV(百万THB)	750,240
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,201.7



## 主要株主 (2019/4)

株主	(%)
1.KING MAHA VAJIRALONGKORN	33.30
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	7.92
3.ステート・ストリート	4.89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp



**フィリップ証券株式会社**

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

## 【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

## 【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。